

## Victorian Websites

### (1) The Victorian Web

<http://www.victorianweb.org/>

ヴィクトリア朝百科の代表。ヴィクトリア朝のあらゆる分野のテキストを読むときに、これを参照すれば、21世紀の日本に住む我々の誤読の可能性を最小限にできる。一例を挙げると、

“Victorian Women — Social and Economic Status: Class and Occupation”

<http://www.victorianweb.org/gender/femeconov.html>

には、upper class から underclass まで、30 程の職業が挙げてあり、その中のいくつかには、その職業を描いた作品に関する論文へのリンクが張ってある。その例が、

“The Working-Class Woman in North and South”

[http://www.victorianweb.org/authors/gaskell/n\\_s4.html](http://www.victorianweb.org/authors/gaskell/n_s4.html)

で、ギaskellが *North and South* で描いた女性の工場労働者は現実的ではないというもの。

ただし、学会や講演会の開催の予告なども含まれていて、ごく一部の資料には update の必要を感じる。

### (2) The Victorian Research Web

<http://victorianresearch.org/>

(1)と同じく、情報量が膨大で、使いこなすのに骨が折れる。しかし、例えば、A guide to Victorian holdings in selected archives in Britain and the U.S.

<http://victorianresearch.org/archive.html#arch>

というリンクでは、研究者に英米の研究機関が持っているヴィクトリア朝関係のアーカイブスを網羅しているので、資料の収集を効果的にしてくれる。

### (3) Nineteenth Century Website

[http://academic.brooklyn.cuny.edu/english/melani/novel\\_19c/websites.html](http://academic.brooklyn.cuny.edu/english/melani/novel_19c/websites.html)

ニューヨーク市立大学ブルックリン校のリリア・メラニ教授の私的なサイト。しかし労作で19世紀小説を読む人には有用。大学（院）生向けなので、丁寧な解説が特徴。でも、

“Victorian Sensation Fiction”

<http://mikegrost.com/sensatio.htm>

というリンクで、センセーション小説のイロハから、多くの「非センセーション」小説とのインター・テクスチャリティを学ぶことができる。ただし、2009年に作られたので、いくつかのサイトはリンク切れ。彼女の授業のシラバスも閲覧できる。

### (4) Victorian Studies on the Web

<http://www.victoriandatabase.com/>

ヴィクトリア朝研究の書誌。研究書から論文まで、annotated されていて選択を助けてくれる。